

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

### 事業名 教育事務所によるICT活用モデルの構築・推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 教科教育第一係 電話番号：058-272-1111(内8660)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,475 千円 (前年度予算額：1,475 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,475	1,475	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,475	0	0	0	0	0	0	0	1,475
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・国のGIGAスクール構想の早期実現により、各小・中学校において1人1台端末及びネットワーク環境が整備され、1人1台端末を活かした個別最適化された授業の実現や、デジタル教材等の活用による多様な学びの保障が求められている。
- ・ICTを効果的に活用した各教科等のモデル授業を構築するとともに、ICT活用に関する知見やノウハウの共有を図り、全市町村におけるICT教育の推進を図ることが重要である。

### (2) 事業内容

- ・各地区教育事務所において、様々な学習支援ツールやデジタル教科書等のコンテンツの有効な活用法を示し、各学校の1人1台端末を生かした授業実践を支援する。
- ・教育事務所の指導主事と学校の教員が共同してデジタル教材の作成や学習効果の高いソフト等についての実践研究を進め、その成果を発信し、普及を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
使用料	595	学習支援ツール
消耗品	880	デジタル教材、ソフト
合計	1,475	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進

目標12 ICTを活用した学習活動の充実

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全ての教員が毎日タブレット等のICTを活用した授業を実施する。  
また、全ての教員が授業展開に応じて、タブレット等の機能を活かした授業を実施する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①全国学力・学習状況 調査学校質問紙調査 「教員が大型提示装置 などのICT機器を 活用した授業を、1クラ ス当たりどの程度行い ましたか」で「ほぼ毎 日」と回答した学校の 割合	小学校 67.0%	小学校 88.3%	小学校 90.0%	小学校 100%	小学校 100%	小学校 88.3%
	中学校 63.8%	中学校 81.4%	中学校 90.0%	中学校 100%	中学校 100%	中学校 81.4%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	<p>各地区教育事務所に配備した協働学習支援ツールを用いて各指導主事が授業研究を進め、その成果を生かして管内小・中学校へ指導助言を行っている。また、各地区に設置した実践フィールド校（全6地区に小・中1校ずつ、県全体で12校）において、デジタル教材やデジタル教科書等を用いた実践研究を進め、その成果をオンライン会議や県のホームページへの掲載を通して、県内の各学校への普及を図っている。</p> <p>指標① 目標：小100% 中100% 実績：小88.3% 中81.4% 達成率：小88.3% 中81.4%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	G I G Aスクール構想の早期実現により、1人1台端末が整備されたことを踏まえ、端末を有効に活用した多様な指導が必要なため。
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	指標とした目標に対する実績からも推察できるように、各学校においてICT機器活用の有効性が認識され積極的に活用されており、児童生徒一人一人が自分に最適な学習を進められるように、指導の工夫改善が図られているため。
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	市町村ごとに端末やネットワーク環境、教職員のスキルが異なり、必要な支援の在り方について、教育事務所と学校との検討会議を頻繁に行われているため。

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 教員がICT活用をした指導力には、差があり、実践を通じた研修によって、全ての教員がICT活用力を高めていくことが必要である。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 1人1台タブレットの家庭での活用も含めて、より有効な活用方法を広めるとともに、不登校児童生徒や外国人児童生徒等、多様な児童生徒の学力や学習機会を保障する必要がある。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	